●わたりちょう
亘理町

震災後に新設した展示コーナーで震災を解説

●わたりちょうりつきょうどしりょうかん
亘理町立郷土資料館

平成6年（1994）に開館した悠里館の1階に入る郷土資料館。震災後は「東日本大震災特集コーナー」を新設し、25枚の写真パネルを使って、発災から復興へと歩む様子を解説しています。毎月11日には、震災直後から10年間の町の歩みをまとめた映像の上映会を実施（上映時間約15分）。また、震災で失われてしまった景観や文化を後世へ伝え続けようと、かるたを製作し、館内で販売。読み札は町内の小・中学生からの応募により、取り札の絵は町内の中学校の美術部員、絵画製作の団体や個人の方々により描かれました。

郷土資料館から車で10分のところには、太平洋に面した鳥の海公園があります。園内には「鎮魂の碑」が建立され、そばには津波の教訓を刻んだ石碑も。町民から募集した碑文の中には「川の水 引けば津波だ 大きいぞ」など、身をもって得た教訓が反映されています。

亘理町の被害状況

最大震度	6弱
浸水面積	35㎢
最大浸水高	10.73m
全壊	2,389棟
半壊	1,150棟
一部損壊	2,048棟
死者	283人
行方不明者	4人
負傷者	45人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

鳥の海公園にある「鎮魂の碑」は、築港（ちっこう）住宅跡に建てられた。花壇がある一画は三角形になっており、かつてこの地にあった「三角公園」を偲んで設計。花壇の手入れは、地元住民が行っている

阿武隈川の流れをイメージした常設展示室の入口では大型画面による映像プログラム「わたしたちのまち・亘理」を上映。ほかシアターコーナーや亘理伊達家を掘り下げたコーナーなど、郷土史にまつわる展示も充実

1階では毎月11日に、震災後から10年の歩みをまとめた約15分の映像「わたり復興のあゆみ」を上映している（休館日を除く）。5階展望ホールからは町を一望できるので、海までの町の景色を眺めてみよう

考えてみよう

Q1 鳥の海公園にある石碑に刻まれた碑文は、実際に被災した方たちから募集し、後世に伝えたい5訓を選び、記しています。そのなかの1つに、荒浜地区で信じられていた津波に関する言い伝えを、強く否定している教訓があります。それは、何でしょうか？

A1 「“荒浜に津波は来ない”は幻想なり」。ほかにも「油断して 途中で戻れば 命取り」など、具体的な教訓が並ぶ。

展示・交流拠点

施設ガイド　車椅子OK
※要予約

施設DATA

●わたりちょうりつきょうどしりょうかん
亘理町立郷土資料館

☎0223-34-8701　MAP P115C4

住 亘理町字西郷140
交 JR亘理駅から徒歩3分
時 9時～16時30分（最終入館は16時）
休 月曜、祝日（特別開館日を除く）、資料整理日（毎月最終金曜）、特別整理期間（2月中）
料 無料
P あり（大型バス：あり）
https://www.town.watari.miyagi.jp/museum